

5/27 (金) 地域ふれあい講座 【生名地区】みんな違ってみんないい

生名保育所において、上島町発達支援センターの保健師により、「みんな違ってみんないい」というテーマで講座を行いました。講座では、自分の「普通」は、みんなの「普通」ではない。それぞれ違いがあることを学びました。その後、参加者で障がいについて意見交換を行い、普通と障がいを分けることの難しさや、相手を理解することの大切さを学ぶことができました。



6/4 (土) 地域ふれあい講座 【弓削地区】紙芝居で学ぶ「いのちとなまへのたいせつさ」「男女共同参画社会」

弓削保育所において、今治人権擁護委員さん4名をお迎えし、園児と保護者に向けて紙芝居を行いました。講座前半では、紙芝居を通じて相手の名前を正しく呼ぶこと、ひとつの命を大切にすることをわかりやすく学ぶことができました。後半には保護者向けに男女共同参画社会について「参加」と「参画」の違いや、家庭や職場で男女が協力し合うことの大切さを学ぶことができました。



地域ふれあい講座は、各種団体の研修の場に出向き、保護者、地域住民に対し、様々な人権課題、地域課題について学ぶ機会をもつことを目的としております。開催を希望する学校や、団体がありましたら、事務局までお問い合わせください。 上島町人権教育協議会事務局 ☎77-2128（上島町教育委員会）

6/5 (日) 令和4年度 人権・同和教育講演会 ～ 愛であふれる上島町へ ～

作品は息子のことば
～発達障がいの我が子と歩んで～



石村 嘉成先生（アーティスト）



作品名 サバイバルアニマル

せとうち交流館において、講師に石村嘉成さん（アーティスト）、石村和徳さん（嘉成さんのお父様）をお迎えし、人権・同和教育講演会が開催されました。和徳さんが、自閉症と診断された我が子に対して、どのように子育てを行ってきたか、当時の想いを交えながらご講演いただきました。また、講演会の最後には、嘉成さんが実際に絵（版画）を作成するパフォーマンスを行い、会場の皆さんは真剣に見入っていました。



5/22 (日) 岩城橋を観光分野に活かそう！ ゆめしま海道3橋PR事業実行委員会主催で見学会

斜張橋として国内第7位の大きさを誇る岩城橋を観光分野にも活かそうと、愛媛県と上島町が主体となって構成された「ゆめしま海道3橋PR事業実行委員会」主催で、第1回目は町内観光事業者、弓削高校起業部の生徒さんを対象に岩城橋の見学会が行われました。当日は、橋脚内部の見学や点検路を使った主塔部の登頂体験など、普段は見ることのできない岩城橋の姿に参加者の皆さんからは喜びの笑顔が見られました。今後は、参加者からのアンケートを基に、顧客ニーズの把握、運営方法の検討や更なる安全策の強化を図り、町内観光アクティビティと組み合わせたインフラツーリズムの造成を目指していきます。



5/26 (木) 地域ふれあい講座 【岩城地区】絵本読み聞かせ ～親子ふれあい時間～

岩城保育所において、村上和子さん、田名後千恵子さん、松本美香さんによる、絵本の読み聞かせを行いました。講座中は講師それぞれが、様々な方法で子どもたちの興味を引きつけ、子どもたちは夢中になっていました。会の最後には、実際に我が子に向けて保護者も読み聞かせを行いました。「家ではなかなか本を読んであげられないのでもっと読んであげたい」という声が多く寄せられました。この絵本の読み聞かせを通じて、本を読むことや親子でふれあう時間の大切さを、親子一緒に学ぶことができました。



5/29 (日) 第19回 かみじま てしごと市 かみじましてごと市実行委員会

この日は晴天に恵まれ、ひだまり公園には大勢の人たちが2年半ぶりのてしごと市に集まりました。今回は、コロナ対策として会場内での飲食はなくし、手指消毒の協力を得て開催。会場は、フードではKitchen 313 Kamiyuge、さぎょうしょポップコーンのいえ、クラフトではichi、雨読車、Kimimin-made、佐島しまのひろばフリマ、しましま農園、ニジノタマ、Believer、ゆげもけい店、弓削高校文化活動部やフリーマーケットが参加しました。また、11時30分からは弓削高校音楽部&大人ブラバン部の演奏が行われ、会場では生の演奏を楽しんでいました。併設の「YUMESHIMA TOY ガチャリで遊ぼう」では引換券やレシートを渡しガチャリメダルをもらい遊ぶアートを体験していました。カプセルの中には、かみりん缶バッジ、上島町オリジナルエコバック等があり、長蛇の列で順番を待っていました。

